



○ 草の根パートナー型

平成21年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ザンビア
2. 事業名	チボンボ郡地域住民が支える安全な妊娠／出産の支援事業
3. 事業の背景と必要性	TICOはザンビア農村地域で、水・農業・保健・教育を保障する包括的農村開発パッケージ（WAHE）を提唱し、各分野について一定の成果を取めている。 先行実施中のプライマリーヘルスケア事業では、ヘルスポスト（無床診療所）を開設し、主に5歳未満児の健康改善に注力してきた。さらに妊産婦保健に支援を行い、農村地域の保健医療改善に資する。
4. 事業の目的	モンボシ地域の妊産婦の妊娠出産をめぐる状況が改善し、安全なお産が可能となる。
5. 対象地域	中央州チボンボ郡にあるモンボシ＝ヘルスポストの診療圏
6. 受益者層	対象地域に存在する妊娠適齢期の女性
7. 活動及び期待される成果	1. 伝統的産婆（TBA）や既存の住民保健ボランティアから成る、安全なお産支援グループ（SMAG; Safe Motherhood Action Group）が組織され、SMAGのメンバーが中心となり妊産婦保健に関わる保健活動を実施する。また、妊産婦登録から健診、分娩まで安全に経過するよう、地域住民が主体的に関わることとなる。 2. SMAGメンバーを中心に住民保健ボランティアは妊娠適齢期の女性に対して、栄養・妊娠・出産についての健康教育を行う。これにより、妊産婦が基礎的な保健知識を持つことができる。 3. 住民保健ボランティアが担当地域の人口動態を把握し、特に妊産婦死亡例について原因を協議し、改善策をヘルスポストや郡保健局とともに実践する。これにより、住民自らが妊産婦保健の問題点を把握し、解決できる力を養うことができる。
8. 実施期間	2010年10月～2013年9月（3年）
9. 事業費	50,000千円（予定）
10. 事業の実施体制	日本より、プロジェクトマネージャー、業務調整員、保健医療専門家を派遣する。チボンボ郡保健局およびモンボシ＝ヘルスポストと協力しつつ、安全な妊娠／出産をサポートするためのコミュニティーレベルでの人材養成および住民保健ボランティアの活動を支援し、事業終了後の持続可能性を達成する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人TICO
2. 活動内容	1993年以来、ザンビア、カンボジアを主な対象国として、貧困・飢餓・戦乱に苦しむ人たちの自立を支援する国際協力活動を行っている。既に、貧困層居住地域の民生改善・保健医療対策や首都の救急隊員養成、参加型農村開発、農村地域プライマリーヘルスケア事業等に実績がある。